

別冊資料-3

「資料-5 再液状化の診断」 の詳細データ

- ・簡易法詳細結果
 - ・タイプ1
 - ・タイプ2
 - ・タイプ3
- ・地震応答解析詳細結果
 - ・タイプ1
 - ・タイプ2

簡易法詳細結果 タイプ1

検討結果の詳細

- 手法：簡易法による液状化判定(タイプ1：M7.5 200gal)
- 基準：「建築基礎構造設計指針」(日本建築学会：2001年10月)

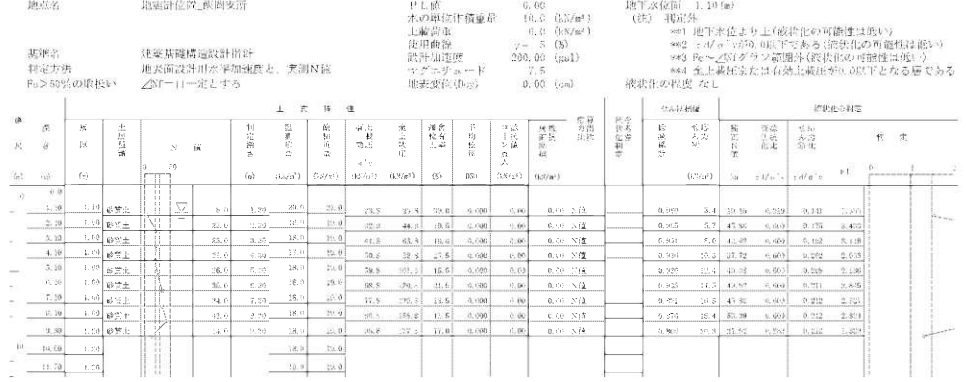
地点名：旭市役所
タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 0.3 Dcy(建築指針) = 0.6 cm Dcy(高圧ガス指針) = 2.3 cm



地点名：飯岡支所
タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 0.0 Dcy(建築指針) = 0.0 cm Dcy(高圧ガス指針) = 0.6 cm



地点名：海上支所
タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 0.0 Dcy(建築指針) = 0.0 cm Dcy(高圧ガス指針) = 0.0 cm



地点名：干潟支所
タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 2.9 Dcy(建築指針) = 1.4 cm Dcy(高圧ガス指針) = 3.4 cm



地点名：旭中央病院
 タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 3.2 Dcy(建築指針) = 1.6 cm Dcy(高圧ガス指針) = 4.3 cm

地点名	読書館築地築城旭中央病院B	PL値 水の単位体積重量 10.0 (kN/m ³)	地下水位面 0.00 (m) (注) 判定外
基準高	電磁基礎構造設計指針	土壌質量 9.0 (kN/m ³)	※1 地下水位より土質改良の可能性は低い
判定方法	地表面設計用水平加速度と、震源N値	使用面積 9.0 (m ²)	※2 $\pm 0.0 \sim 0.05$ 以下である(液状化の可能性は低い)
液状化の程度	△N=11一定とする	設計加速度 200.00 (gal)	※3 $P_{c=20}$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
		マニマニュード 7.5	※4 全土載圧または有効土載圧が0.0以下となる層である
		地表面設計用 1.63 (cm)	液状化の程度 4級

地点名：日の出保育所
 タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 12.1 Dcy(建築指針) = 22.4 cm Dcy(高圧ガス指針) = 8.5 cm

地点名	読書館築地築城旭中央病院B	PL値 水の単位体積重量 10.0 (kN/m ³)	地下水位面 0.00 (m) (注) 判定外
基準高	電磁基礎構造設計指針	土壌質量 9.0 (kN/m ³)	※1 地下水位より土質改良の可能性は低い
判定方法	地表面設計用水平加速度と、震源N値	使用面積 9.0 (m ²)	※2 $\pm 0.0 \sim 0.05$ 以下である(液状化の可能性は低い)
液状化の程度	△N=11一定とする	設計加速度 200.00 (gal)	※3 $P_{c=20}$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
		マニマニュード 7.5	※4 全土載圧または有効土載圧が0.0以下となる層である
		地表面設計用 1.63 (cm)	液状化の程度 4級

地点名：津波避難タワー
 タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 11.2 Dcy(建築指針) = 16.9 cm Dcy(高圧ガス指針) = 15.0 cm

地点名	津波避難タワー	PL値 水の単位体積重量 10.0 (kN/m ³)	地下水位面 0.00 (m) (注) 判定外
基準高	電磁基礎構造設計指針	土壌質量 9.0 (kN/m ³)	※1 地下水位より土質改良の可能性は低い
判定方法	地表面設計用水平加速度と、震源N値	使用面積 9.0 (m ²)	※2 $\pm 0.0 \sim 0.05$ 以下である(液状化の可能性は低い)
液状化の程度	△N=11一定とする	設計加速度 200.00 (gal)	※3 $P_{c=20}$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
		マニマニュード 7.5	※4 全土載圧または有効土載圧が0.0以下となる層である
		地表面設計用 1.63 (cm)	液状化の程度 4級

地点名：HB-S-1
 タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 2.6 Dcy(建築指針) = 3.9 cm Dcy(高圧ガス指針) = 4.5 cm

地点名	HB-S-1	PL値 水の単位体積重量 10.0 (kN/m ³)	地下水位面 0.00 (m) (注) 判定外
基準高	電磁基礎構造設計指針	土壌質量 9.0 (kN/m ³)	※1 地下水位より土質改良の可能性は低い
判定方法	地表面設計用水平加速度と、震源N値	使用面積 9.0 (m ²)	※2 $\pm 0.0 \sim 0.05$ 以下である(液状化の可能性は低い)
液状化の程度	△N=11一定とする	設計加速度 200.00 (gal)	※3 $P_{c=20}$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
		マニマニュード 7.5	※4 全土載圧または有効土載圧が0.0以下となる層である
		地表面設計用 1.63 (cm)	液状化の程度 4級

地点名：HB-1
 タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 16.9 Dcy(建築指針) = 31.2 cm Dcy(高圧ガス指針) = 11.6 cm



地点名：HB-2
 タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 11.5 Dcy(建築指針) = 26.4 cm Dcy(高圧ガス指針) = 10.4 cm



地点名：HB-3
 タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 13.5 Dcy(建築指針) = 26.4 cm Dcy(高圧ガス指針) = 10.8 cm



地点名：UK-1
 タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 5.6 Dcy(建築指針) = 5.7 cm Dcy(高圧ガス指針) = 6.0 cm



地点名：HA-1
 タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 9.0 Dcy(建築指針) = 13.8 cm Dcy(高圧ガス指針) = 6.2 cm



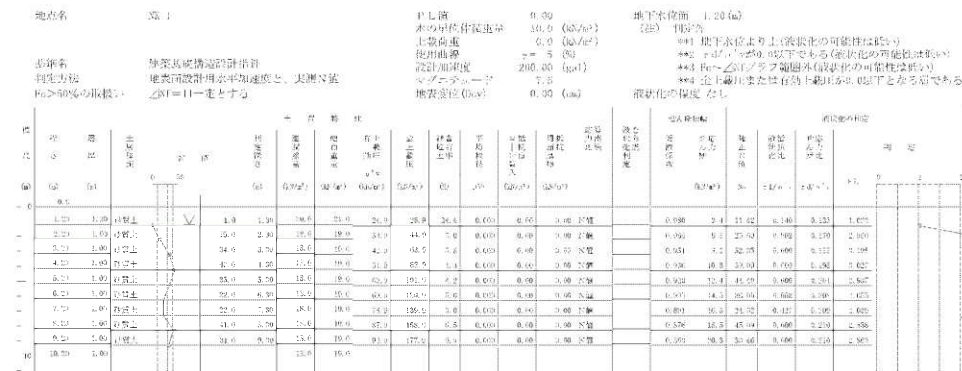
地点名：HA-2
 タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 5.3 Dcy(建築指針) = 7.6 cm Dcy(高圧ガス指針) = 3.1 cm



地点名：NK-1
 タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 0.0 Dcy(建築指針) = 0.0 cm Dcy(高圧ガス指針) = 1.0 cm



地点名：JG-S-1
 タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 2.7 Dcy(建築指針) = 6.9 cm Dcy(高圧ガス指針) = 3.5 cm



[illegible]

地下水位	0.00	地下水位面 1.01 (m)
水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	
土壌質量	0.0 (kN/m ³)	(注) 判定
設計勾配	$\gamma = 2$ (5)	01 地下水位より上(浸食の可能性は低い)
浸潤深度	200.00 (mm)	02 $\gamma = 1/2$ かつ、01下である(浸食の可能性は低い)
バネ定数	7.0 (mm)	03 01および02が範囲外(浸食の可能性は低い)
バネ定数	7.0 (mm)	04 全土粒径または有効土粒径が、0.01mm以下となる層がある
浸食深度	0.00 (mm)	浸食の程度なし

地点名	Alt-1	D-1 新 水の単位体積重量 土敷密度 応力係数 計算水位差 ポネチヤード せん断強度 (kN/c)	1.37 10.0 (kN/m ³) 0.0 (kN/m ²) y = 5 (%) 20.0 (m) 7.5 1.75 (m)	地下水位幅 1.05 (m) (注) 特定 ※1 地下水位より上 (液状化の可能性は低い) ※2 $d/v = 0.6/0.02$ 以下である (液状化の可能性は低い) ※3 $v = 0.2$ のシラップ等細目土 (液状化の可能性は低い) ※4 全土域にわたるは有効土層に 0.5m 以下となっており、液状化の可能性は低い
基盤地	地盤補強構造設計			
判定方法	地盤補強設計用平均地耐力と、基礎面積の $Q/V = 11$ とする			
応力係数の取扱い				

PI値	1.37	地下水位高	1.05(m)
水の単位体積重量	10.0 (kg/m^3)	(注) 相対湿度	
土概算係数	0.0 (kN/cm^2)	*1) 地下水面上より(液状化の可能性は低い)	
地層水深	y = 5 (m)	*2) $d/d_0 < 0.1$ の以下である(液状化の可能性は低い)	
設計加速度	200.0 (cm/s^2)	*3) Pへシグナリング部埋込位置状況の可能性は高い	
γ-ブレイク	7.5	*4) 全土域にまたは建物と地盤の間に以下となくとも存在する	
標準偏差(σ_{ex})	1.75 (mm)	液状化する程度 評価	

[illegible]

地点名 JS-S-1

基準面 建築基礎構造設計指針
規定地面利用水平面と陸奥・大隅
△H=11一定とする

測定方法
F10測定の取扱い

F11値
水の単位体積重量 0.78
水の単位体積重量 10.0 (kN/m³)
飽和密度 5.0 (kN/m³)
体積含水率 7.0 (%)
設計加速度 200.00 (cm/s²)
マグネシウム 7.5
地層強度 (kN/m²) 10.01 (n)

地下水位 (1.20 (m))
(注) ①測点
②地下水位より土質改良の必要性は低い
③ σ_{v0} = 2.0 (kN/m²) 以下である
④ σ_{v0} = 2.0 (kN/m²) 以下である
⑤土質改良は土質改良係数が0.5以下となる層である
砂状土の層は中

1.1. 値	0.76	地下水位 1.20 (m)
水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) ① 地下水位より土質改良の範囲幅を約10%
土の密度	19.0 (kN/m ³)	② $\sigma_v \cdot d \cdot \sigma_v$ の値が、以下である(保水作用の可能性は低い)
傾角係数	$\gamma = 5$ (度)	③ $\sigma_v \cdot \Delta \sigma_v$ の値が、以下である(保水作用の可能性は低い)
設計勾配度	200.0 (g)	④ 土質改良土は有効土層が、0.70以下となる層である
マシナリモード	7.5	

地盤名	SV-5-2	P1. 砂 公の単位体積重量 土の単位重 使用曲線 設計加速度 マシニング・ド 地表面傾斜 (%)	0.07 10.0 (kN/m ³) 0.0 (kN/m ³) $\gamma = 0.5$ 260.0 (gal) 7.5 0.00 (cm)	地下水位高: 1.43m (注) 判定外 ※1 地下水位より土(微状)中の可溶性は低い ※2 $d/d' = \gamma/\gamma'$ 、0以下である(微状化の可能性は低い) ※3 $F_{eq} = \gamma/\gamma' \times \gamma' \times \gamma'$ 、0以下である(微状化の可能性は低い) ※4 土質組成または有効土圧が0.0以下となる可能性がある 微状化の程度
-----	--------	---	--	--

PI 値	0.07	地下水流量 (1.43 cm)
水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外
土の単位体積重量	0.0 (kN/m ³)	※1 地下水面上より土(液状土)の可能性は検出(-)
使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	※2 $d/d' < \gamma/d'$ の以下である(液状土)の可能性は検出(-)
設計加速度	250.0 (g)	※3 $\gamma > \gamma'/d'$ の範囲外(液状土)の可能性は検出(-)
マゲニチチュード	7.05	※4 上級土または有級土(震度 0.0 以下)となっており
地震震度 (Cv)	0.48 (m/s ²)	液状化の程度

[illegible]

地点名：SG-1
 タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 8.9 Dcy(建築指針) = 17.4 cm Dcy(高圧ガス指針) = 8.0 cm

地点名 SG-1 P1値 8.88 地下水位面 2.05(m)
 水の単位体積重量 10.0 (kN/m³) (注) 判定外
 土壌荷重 0.0 (kN/m²) **1 地下水位より土(液状化の可能性は低い)
 使用曲線 $\gamma = 5$ (%) **2 $\sigma'_{v0} / \sigma'_{v250,0}$ 以下である(液状化の可能性は低い)
 設計加速度 200.00 (gal) **3 $F_v - \sigma'_{v0}$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
 マグニチュード 7.5 **4 全土層または有効土層が0.0以下となる層である
 地表変位(Dcy) 16.48 (cm) 液状化の程度 中

地層	層名	土質	地層	土質特性										液状化の判定									
				標準	液状	単位	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質
(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)	(j)	(k)	(l)	(m)	(n)	(o)	(p)	(q)	(r)	(s)	(t)	(u)	(v)	(w)	(x)
0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

地点名：SG-2
 タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 0.0 Dcy(建築指針) = 0.0 cm Dcy(高圧ガス指針) = 1.2 cm

地点名 SG-2 P1値 0.00 地下水位面 2.05(m)
 水の単位体積重量 10.0 (kN/m³) (注) 判定外
 土壌荷重 0.0 (kN/m²) **1 地下水位より土(液状化の可能性は低い)
 使用曲線 $\gamma = 5$ (%) **2 $\sigma'_{v0} / \sigma'_{v250,0}$ 以下である(液状化の可能性は低い)
 設計加速度 200.00 (gal) **3 $F_v - \sigma'_{v0}$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
 マグニチュード 7.5 **4 全土層または有効土層が0.0以下となる層である
 地表変位(Dcy) 0.00 (cm) 液状化の程度 無し

地層	層名	土質	地層	土質特性										液状化の判定									
				標準	液状	単位	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質
(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)	(j)	(k)	(l)	(m)	(n)	(o)	(p)	(q)	(r)	(s)	(t)	(u)	(v)	(w)	(x)
0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

地点名：HG-S-1
 タイプ1：M7.5, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 4.1 Dcy(建築指針) = 4.4 cm Dcy(高圧ガス指針) = 9.3 cm

地点名 HG-S-1 P1値 4.13 地下水位面 0.91(m)
 水の単位体積重量 10.0 (kN/m³) (注) 判定外
 土壌荷重 0.0 (kN/m²) **1 地下水位より土(液状化の可能性は低い)
 使用曲線 $\gamma = 5$ (%) **2 $\sigma'_{v0} / \sigma'_{v250,0}$ 以下である(液状化の可能性は低い)
 設計加速度 200.00 (gal) **3 $F_v - \sigma'_{v0}$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
 マグニチュード 7.5 **4 全土層または有効土層が0.0以下となる層である
 地表変位(Dcy) 3.94 (cm) 液状化の程度 軽微

地層	層名	土質	地層	土質特性										液状化の判定									
				標準	液状	単位	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質
(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)	(j)	(k)	(l)	(m)	(n)	(o)	(p)	(q)	(r)	(s)	(t)	(u)	(v)	(w)	(x)
0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

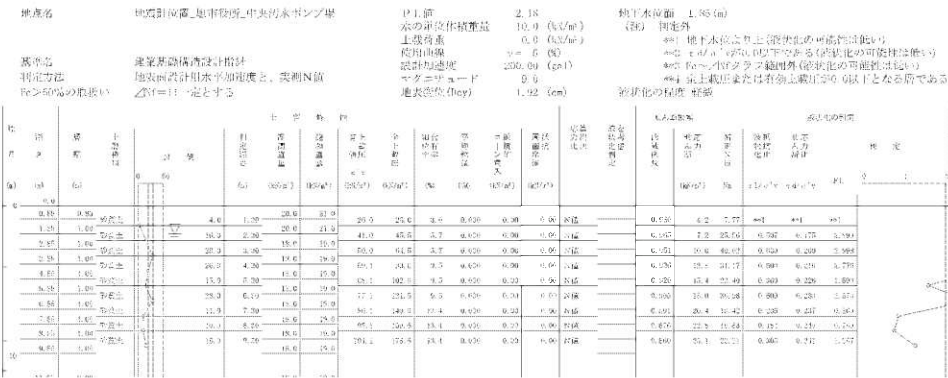
簡易法詳細結果 タイプ2

検討結果の詳細

- 手法：簡易法による液状化判定(タイプ2：M9.0 200gal)
- 基準：「建築基礎構造設計指針」(日本建築学会：2001年10月)

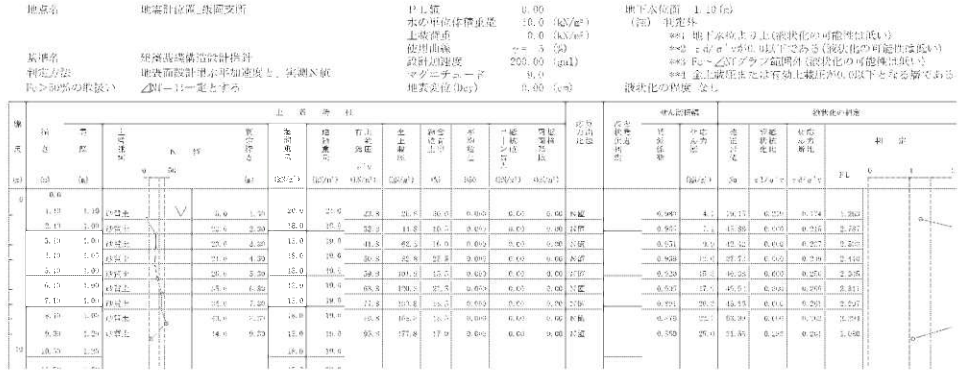
地点名：旭市役所
タイプ2：M9.0、 $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 2.2 Dcy(建築指針) = 2.0 cm Dcy(高圧ガス指針) = 5.1 cm



地点名：飯岡支所
タイプ2：M9.0、 $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 0.0 Dcy(建築指針) = 0.0 cm Dcy(高圧ガス指針) = 1.2 cm



地点名：海上支所
タイプ2：M9.0、 $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 0.0 Dcy(建築指針) = 0.0 cm Dcy(高圧ガス指針) = 0.1 cm



地点名：干潟支所
タイプ2：M9.0、 $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 4.2 Dcy(建築指針) = 2.2 cm Dcy(高圧ガス指針) = 4.2 cm



地 点 名 : 旭中央病院
 タイプ 2 : M9.0, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 5.0 Dcy(建築指針) = 2.0 cm Dcy(高压ガス指針) = 4.9 cm

地点名	新潟県南魚沼市上内陸旭中央病院	PL値	5.00	地下水位	0.50 (m)
基準高	建築基礎構造設計指針	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	土壌密度	0.0 (kN/m ³)	※1 地下水位より土(液状化の可能性は低い)	
Fe>50%の取扱い	△N=11一定とする	使用曲線	$\gamma = 5$ (5)	※2 $\sigma'_{vm}/\sigma'_{vm0}$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
		設計加速度	200.00 (gal)	※3 $\rho_{liq} \sim \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
		サグニテューラ	0.0	※4 全土層圧力は有効土層圧が0.0以下となる層である	
		地震加速度(Day)	1.50 (cm)	液状化の程度 4段階	

地 点 名 : 日の出保育所
 タイプ 2 : M9.0, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 14.3 Dcy(建築指針) = 22.6 cm Dcy(高压ガス指針) = 8.5 cm

地点名	新潟県南魚沼市上内陸日の出保育所	PL値	14.30	地下水位	1.60 (m)
基準高	建築基礎構造設計指針	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	土壌密度	0.0 (kN/m ³)	※1 地下水位より土(液状化の可能性は低い)	
Fe>50%の取扱い	△N=11一定とする	使用曲線	$\gamma = 5$ (5)	※2 $\sigma'_{vm}/\sigma'_{vm0}$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
		設計加速度	200.00 (gal)	※3 $\rho_{liq} \sim \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
		サグニテューラ	0.0	※4 全土層圧力は有効土層圧が0.0以下となる層である	
		地震加速度(Day)	22.55 (cm)	液状化の程度 4段階	

地 点 名 : 津波避難タワー
 タイプ 2 : M9.0, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 16.8 Dcy(建築指針) = 19.4 cm Dcy(高压ガス指針) = 16.4 cm

地点名	津波避難タワー	PL値	16.78	地下水位	1.70 (m)
基準高	建築基礎構造設計指針	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	土壌密度	0.0 (kN/m ³)	※1 地下水位より土(液状化の可能性は低い)	
Fe>50%の取扱い	△N=11一定とする	使用曲線	$\gamma = 5$ (5)	※2 $\sigma'_{vm}/\sigma'_{vm0}$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
		設計加速度	200.00 (gal)	※3 $\rho_{liq} \sim \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
		サグニテューラ	0.0	※4 全土層圧力は有効土層圧が0.0以下となる層である	
		地震加速度(Day)	17.93 (cm)	液状化の程度 4段階	

地 点 名 : HB-S-1
 タイプ 2 : M9.0, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 6.1 Dcy(建築指針) = 5.7 cm Dcy(高压ガス指針) = 7.3 cm

地点名	HB-S-1	PL値	6.06	地下水位	1.80 (m)
基準高	建築基礎構造設計指針	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	土壌密度	0.0 (kN/m ³)	※1 地下水位より土(液状化の可能性は低い)	
Fe>50%の取扱い	△N=11一定とする	使用曲線	$\gamma = 5$ (5)	※2 $\sigma'_{vm}/\sigma'_{vm0}$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
		設計加速度	200.00 (gal)	※3 $\rho_{liq} \sim \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
		サグニテューラ	0.0	※4 全土層圧力は有効土層圧が0.0以下となる層である	
		地震加速度(Day)	5.61 (cm)	液状化の程度 4段階	

タイプ2 : M9.0, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 19.6 Dcy (建築指針) = 31.2 cm Dcy (高圧ガス指針) = 11.7 cm

地点名	100-1	F1値	12.63	地下水位	3.90 (m)
		木の平均直径 (cm)	10.0	(注) 測定外	
		土壌容積	0.0 (m ³ /m ²)		
		使用曲線	$\gamma = 5$ (mm)	800 地下水位より上 (腐植化の可能性は低い)	
調査者	建築系基礎構造設計班	設計担当者	2005.06 (印)	900 $\gamma < 4$ (mm) 以下である (腐植化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用土質平均値と、原則N値	マシナード	9.0	950 $\gamma < 2$ (mm) 弱腐植 (腐植化の程度は低い)	
R ₀ (%) の取扱い	$\Delta R_0 = 1$ とする	地表面位 (m)	27.20	1000 土壌にまたは有土壌は $\gamma < 0.5$ 以下となる層である	
				腐植化の程度	

[illegible]

地点名: HB-3

タイプ2 : M9.0, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 16.6 Dcy (建築指針) = 27.0 cm Dcy (高圧ガス指針) = 10.8 cm

調査名	国・県	伊予県	16.55	地下水位高	4.87(m)
		水の単位体積重量	9.81 (kN/m ³)	(注) 判別表	
		土壌密度	0.9 (kN/m ³)		
		伝阻係数	γ = 3 (s)		
評価者	建築基礎構造設計部	設計年度	2010.00 (年)		
判定方法	地盤面設計用水平伝播速度と、失調関数 R ₀ ≥90%の判別値	マシニングコード	9.0		
	ΔV=1一定とする	地盤強度(lex)	26.35 (cm)		
				設計上の優度	

[illegible]

地点名: HB-2

タイプ2 : M9.0, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

地点名	DB-2	P.L.値	17.42	地下水位面 2.55 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 概算値
		土質分類	0.0 (kN/m ²)	※1 地下水位より上(浸透帯)の値は低い
		使用強度	$\gamma = 5$ (°)	※2 d/d_0 が 0.7 以下である(浸透帯)の可能性は高い
基名	建築基準法附録計測計	測定精度	200.0 (mm)	※3 $P_{\text{ave}} > 0.2$ の場合、地下水位の信頼性は高い
判定方法	地面調査計測より平均値と、実測値	マニピュレータ	9.0	※4 本土調査は、浸透帯と水位が 0.3 以下となる層である
$P_{\text{ave}} > 0.2$ の確認	図面より決定する	地面調査 (log)	24.62 (cm)	※5 本土調査の精度

[illegible]

地点名: UK-1

タイプ2 : M9.0, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 7.1 Dcy (建築指針) = 6.1 cm Dcy (高圧ガス指針) = 6.3 cm

地点名	図-11	P.1.橋	7.0G	樹干径(平均)	0.37(m)
		木の単位体積重量	10.6 (kN/m ³)	(注) 特定外	
		土被り重	0.5 (kN/m ²)	※1 地下水位より上(腐乱化の可能性は低い)	
橋名	建設標準橋設計資料	使用曲率	1/5 (%)	※2 $\alpha < 3/4$ の場合、以下である(液状化の可能性は低い)	
測定方法	建設設計用水平距離と、赤黒目視	設計加速度	200G (m/s ²)	※3 $\alpha = \Delta L / \Delta x$ (変位/変位化の可能性は低い)	
変位係数の取扱い	$\Delta L = 1$ 一定とする	マクニエム・ヤング係数(E)	9.6	※4 土被り重と土の有効土圧は0.3以下となる値である	
		地盤変位(δeg)	5.94 (cm)	液状化の判定	

[illegible]

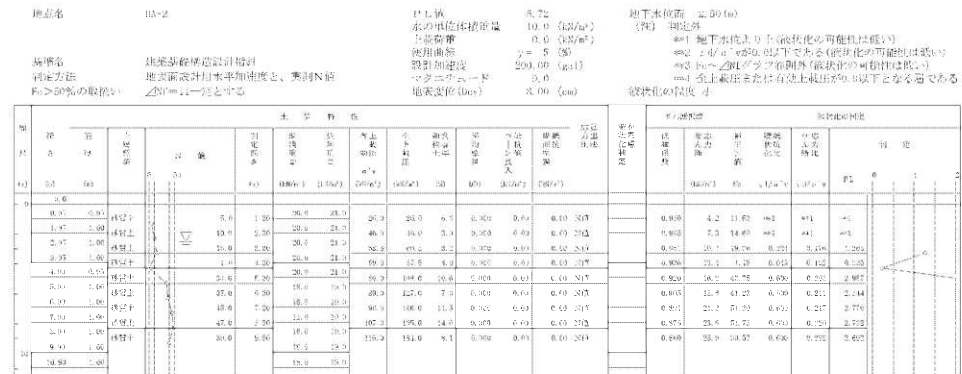
地点名: HA-1
 タイプ2: M9.0, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 10.5 Dcy(建築指針) = 14.8 cm Dcy(高圧ガス指針) = 6.6 cm



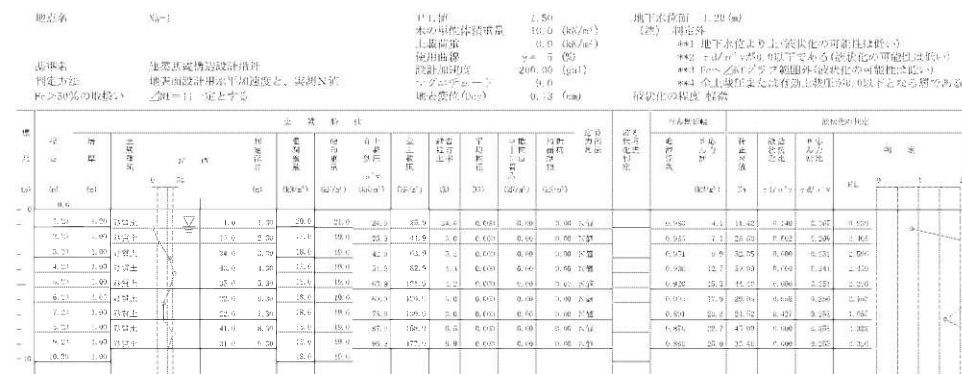
地点名: HA-2
 タイプ2: M9.0, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 5.7 Dcy(建築指針) = 7.6 cm Dcy(高圧ガス指針) = 3.3 cm



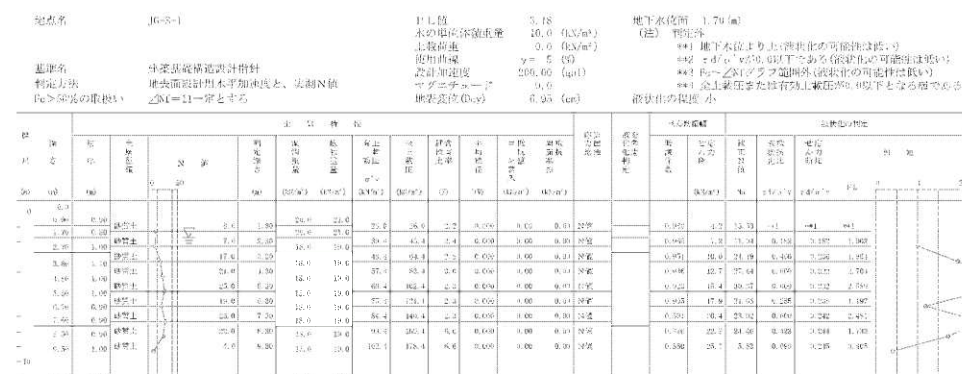
地点名: NK-1
 タイプ2: M9.0, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 1.5 Dcy(建築指針) = 1.8 cm Dcy(高圧ガス指針) = 3.0 cm



地点名: JG-S-1
 タイプ2: M9.0, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 3.2 Dcy(建築指針) = 7.0 cm Dcy(高圧ガス指針) = 4.4 cm



地点名: NH-S-1
タイプ2: M9.0, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 1.6 Dcy (建築指針) = 6.0 cm Dcy (高圧ガス指針) = 5.0 cm

[illegible]

地点名: SN-S-1
タイプ2: M9.0, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 4.5 Dcy (建築指針) = 18.6 cm Dcy (高圧ガス指針) = 8.6 cm

[illegible]

地点名: AH-1
タイプ2: M9.0, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 4.1 Dcy(建築指針) = 2.7 cm Dcy(高圧ガス指針) = 5.1 cm

地点名	A01-1	E1-1	E1-2	E1-3	E1-4	E1-5	地下水位面	1.65 (m)
		水の単位深さ上昇	10.0 (kg/m ²)	10.0 (kg/m ²)	10.0 (kg/m ²)	10.0 (kg/m ²)	(注) 算出値	
		土の重量	0.0 (kg/m ²)	0.0 (kg/m ²)	0.0 (kg/m ²)	0.0 (kg/m ²)	※ 地層が土質より土質化の可能性は低い	
		使用面積	5 (m ²)	5 (m ²)	5 (m ²)	5 (m ²)	x ₂ = d ₂ / x ₁ (m) 以下である場合は土質化の可能性は低い	
		設計加速	200.0 (g)	200.0 (g)	200.0 (g)	200.0 (g)	x ₃ = d ₃ / x ₁ (m) 以下である場合は土質化の可能性は低い	
		土質化率	0.0 (kg/m ²)	0.0 (kg/m ²)	0.0 (kg/m ²)	0.0 (kg/m ²)	※ 全土質化率は土質化率の10%以下とならざる限り	
		土質化率	0.0 (kg/m ²)	0.0 (kg/m ²)	0.0 (kg/m ²)	0.0 (kg/m ²)	土質化率の10%以下とならざる限り	

地点名	A01-1	E1-1	E1-2	E1-3	E1-4	E1-5	地下水位面	1.65 (m)
表層	表層	表層	表層	表層	表層	表層	表層	表層
埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法
Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠
地点名	A01-1	E1-1	E1-2	E1-3	E1-4	E1-5	地下水位面	1.65 (m)
表層	表層	表層	表層	表層	表層	表層	表層	表層
埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法
Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠
地点名	A01-1	E1-1	E1-2	E1-3	E1-4	E1-5	地下水位面	1.65 (m)
表層	表層	表層	表層	表層	表層	表層	表層	表層
埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法	埋設方法
Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠	Re>0等の根拠

地点名: SN-S-2
タイプ2: M9.0, $\alpha_{\text{磁気}} = 200\text{gal}$

PL = 3.9 Dcy (建築指針) = 1.5 cm Dcy (高圧ガス指針) = 7.3 cm

[illegible]

地点名 : SG-1
 タイプ2 : M9.0, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 11.5 Dcy(建築指針) = 18.1 cm Dcy(高圧ガス指針) = 8.1 cm

地点名	SG-1	PL値	11.5	地下水位面	2.05(m)
基準名	建築基準法設計指針	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定係	
判定方法	地表面設計用水平均加速度と、実測N値	土壌荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
注	△N=11一定とする	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $d\tau/a'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
		設計加速度	200.00 (gal)	**3 $\tau/\sigma'v < \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
		マグニチュード	9.0	**4 全土蔵圧または有効土蔵圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(kg)	16.94 (mm)	液状化の程度 中	

地点名 : SG-2
 タイプ2 : M9.0, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 1.7 Dcy(建築指針) = 2.1 cm Dcy(高圧ガス指針) = 2.9 cm

地点名	SG-2	PL値	1.7	地下水位面	2.05(m)
基準名	建築基準法設計指針	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定係	
判定方法	地表面設計用水平均加速度と、実測N値	土壌荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
注	△N=11一定とする	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $d\tau/a'v < 0.0$ 以下である(液状化の可能性は低い)	
		設計加速度	200.00 (gal)	**3 $\tau/\sigma'v < \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
		マグニチュード	9.0	**4 全土蔵圧または有効土蔵圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(kg)	1.16 (mm)	液状化の程度 軽微	

地点名 : HG-S-1
 タイプ2 : M9.0, $\alpha_{max} = 200gal$

PL = 10.2 Dcy(建築指針) = 7.6 cm Dcy(高圧ガス指針) = 14.1 cm

地点名	HG-S-1	PL値	10.15	地下水位面	0.91(m)
基準名	建築基準法設計指針	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定係	
判定方法	地表面設計用水平均加速度と、実測N値	土壌荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
注	△N=11一定とする	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $d\tau/a'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
		設計加速度	200.00 (gal)	**3 $\tau/\sigma'v < \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
		マグニチュード	9.0	**4 全土蔵圧または有効土蔵圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(kg)	6.62 (mm)	液状化の程度 小	